

パン・ハーバーランド教室

雑誌や新聞、書籍など、本屋さんへ行けば沢山棚に陳列されています。が、今やタブレットやスマートフォンで購入して、そのままそれで読む、そういう時代です。

電子書籍

電子書籍とは、読んで字のとく電子データ化された読み物のことです。タブレットやスマートフォンにダウンロードして、ページをスクロールしながら読みます。紙の書籍などと異なり「場所を取らず」「持ち運びが楽」です。重さと場所は、タブレットやスマートフォンそのもので完結します。また、本屋さんに行かずとも、思い立ったときに購入することができるのも、とてもお手軽です。

いつでも持ち歩くことができますので、便利

の上ありません。また、画面で読みますので、「拡大表示」も思いのままです。（老眼諸君にはありがたい機能です。）スマートフォンではやはり画面が小さいので、iPadなどの画面の大きいダブルlettがおすすめです。パソコンでも見ることができます。が、お手軽感はなくなります。同じIDで利用すれば、お手持ちの複数の端末でも読むことができます。

また、紙としてのリサイクルも必要もあります。

QRコードからどうぞ。



（アプリを開くと、いつでも過去のものも含めて最新版を読むことができます。）
1か月間定額で読み放題のサービスも増えてきました。雑誌やコミックなどが中心で、最新号が読めるものが多いようです。

また、無料で利用できるものもあります。

「青空文庫」アプリでは、明治・大正の文豪たち（夏田漱石や森鷗外など）の著作権が切れた小説が読めます。

（アプリを開くと、いつでも過去のものも含めて最新版を読むことができます。）

電子書籍といつたものとは異なりますが、「トリセツ」アプリがあります。電子製品などを購入したときについてくる「取扱説明書」が読めるアプリです。意外に保管場所を取ったり、なくなってしまいがちです。取扱説明書は、いざという時に必要な資料です。また、新しく機器を購入する時の事前調査にも役立ちます。機器番号で検索してみましょう。

電子書籍の大手といえばアマゾンです。アマゾンストア内の「Kindleストア」で購入し、専用の「Kindle」アプリで読みます。ここでは、通常の紙の本も購入できますので、買つ際は間違わないように注意しましょう。



どんなものがある？

新聞であれば、各新聞社のサイトで購読契約をする必要があります。その上で専用アプリを使って読みます。

単行本や雑誌、コミックの場合、購入するサイトに等によって読む際のアプリが異なりますので、最初にどうから書籍を購入するかを決めます。アップル、アマゾン、「iBooks」、紀伊國屋書店など様々なところから購入することができます。

iPhoneやiPadには、「iBooks」

アプリが最初から入っており、それを使えば購入から読むことまでを一つのアプリでできるようになっています。

月刊誌や週刊誌などは、定期購入もでき、あらかじめ一ヶ月や半年間、1年間など、期間を

電子書籍は、手軽に購入できて、持ち運べる便利な仕組みです。また、本屋さんではなかなか見つからない、買い逃してしまった週刊誌などが購入できるなど、電子書籍ならではの便利さもあります。まずは何か一冊、無料の「青空文庫」アプリから読んでみてはいかがでしょうか。

注意しましょう。

新規で購入する必要があります。その上で専用アプリを使って読みます。

電子書籍の場合は、手軽に購入できて、持ち運べる便利な仕組みです。また、本屋さんではなかなか見つからない、買い逃してしまった週刊誌などが購入できるなど、電子書籍ならではの便利さもあります。まずは何か一冊、無料の「青空文庫」アプリから読んでみてはいかがでしょうか。

小説などは文字だけ



雑誌

<http://pc-iwakura.com/>



Next Month